2021年（令和3年）
9月14日
（第三種郵便物認可 昭和23年4月15日）
毎月3回発行（第1,第2,第3火曜日）

今号の特集

▷嗜好飲料特集 ④～⑤面
▷パスタ・パスタソース特集 ⑥～⑦面
▷オリーブオイル特集 ⑧面
▷だしの素特集 ⑩～⑪面

中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】

ごまが好きだ

株式会社真誠

第3416号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京支局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

大正から 食を伝えて100有余年

イオンモール 初の商業施設オフィス一体型施設

名古屋の則武に10月オープン

イオンは、名古屋市西区に商業施設「イオンモールNagoya Noritake Garden」を建設、10月27日にグランドオープンする。ビジネスゾーン「BIZrium名古屋」については10月20日に開業する。商業施設とビジネス施設が融合したスタイルはイオン初となる。

同モールは名古屋駅から北1km圏に位置し、都心部でありながら自然環境に恵まれる。建設にあたり新たな国内需要の発掘を実現する施策として、商業施設開発と〝働く人と企業の成長を支えるオフィス〟を融合する事業フォーマットを構築、その第1号店だ。モールのコンセプトに〝自然と自然になれる場所〟を掲げ、都心にありながら緑が感じられる特性を活かし商業施設、オフィスが一体となった自然体となれる場所を目指す。テナントは専門店約150店が入居し、そのうち東海エリア初出店41店舗、愛知県初出店7店舗。都市型モールならではのアーバン・カルチャーテイメントとして、LEDドームシステム採用の「コニカミノルタプラネタリウム満天NAGOYA」が東海エリアに初登場するなど、エンターテイメントからライフスタイルの提供まで独自の発見・体験・交流を提案。飲食では1～3階のフロア東側が緑豊かな屋外に面していることを活かし、屋外席やテラス席を設けて自然環境と四季が感じられる空間を提供する。また、大型クリニックなど健康に関わる様々な専門店を集結、同モールならではの取組みを推進し〝健康になれる場所〟を目指す。

核店舗の「イオンスタイル名古屋則武」は、モールが商業施設とオフィス、大学のサテライトキャンパスが一体となった複合型商業施設であることや、立地エリアが産業文化エリアとしても人気であることを踏まえ、『住む人・働く人・集う人のすべてのお客さまの〝美味しい！楽しい！〟を叶える店』をコンセプトに設定。AIカメラを使った会計時の年齢認証やレジゴーの展開などDXを駆使した東海初のスマートストア。内食ニーズに対応して地場野菜や鮮魚などの生鮮品、冷凍食材の品揃えを充実した。酒類は地元メーカーとコラボした地酒を展開するなど充実。惣菜では同店オリジナル商品や名古屋めしをベースにした惣菜を展開。さらにイオンのテイクアウト専門丼ショップ「たて花」を出店する。

モールの4～6階のビジネス施設「BIZrium名古屋」はイオンモールが手がける次世代オフィスで企業や大学が入居する。名古屋駅から約1kmの好立地に加えて、階下に商業ゾーンがあるため、ワークとライフがワンストップとなり、よりゆとりある暮らしや柔軟な働き方を実現する。ラウンジや貸会議室などの共用環境を充実し、日本最大級のワンフロアサイズは拠点集約やオフィスのスリム化ニーズに対応して社員のコミュニケーションを促進する。ワークとライフの間にある壁を取り払い、企業とワーカーのより強い結びつき実現を目指している。

イオンスタイル名古屋則武 東海初のスマートストア

8月31日にオンライン概要説明会が開催され、イオンモール・藤木光広専務取締役CX創造本部長、イオンリテール・北佳史執行役員東海カンパニー支社長が出席。イオンモールの藤木専務取締役は「新しい商業施設であり、これまでの商業施設開発と異なるビジネスフォーマットとなるオフィス複合型施設の第1号。経営理念の〝地域とともに暮らしの未来を作るライフデザインディベロッパーとなる〟を具体化するものであり、イオンモールが変わったと言われる施設にしたい」と挨拶。イオンリテールの北執行役員は「イオンスタイル名古屋則武は当社にとって愛知県では4年ぶりの新店で県内31店舗目。DXを駆使した東海初のスマートストアとして期待が大きい。商圏特性を考慮して平日は3km商圏やビジネスゾーンの人をターゲットに小商圏高頻度来店型として、週末は広商圏からの集客を目指す」と述べた。

日清食品「カップヌードル」50周年 話題性ある記念商品や〈辛麺〉発売

日清食品は世界初のカップ麺で先般、世界販売500億食を達成した「カップヌードル」ブランドが今年9月18日で発売50周年を迎える。

「カップヌードル」はロングセラーでありつつ、17年度～20年度の4期連続で最高売上を更新するなど、現在も高い成長を続けるブランドとなる。この好調要因として同社では消費者の幅広いニーズに応える様々なフレーバーやサイズバリエーションの展開、ユニークなプロモーションなど、魅力ある多彩な取組みが広く支持を得たと分析。また8月30日には昨今の食品業界のトレンドとなる〝旨辛〟商品の新たな定番品を目指し「カップヌードル 辛麺（からめん）」を新発売。しょうゆベースに唐辛子の辛み、キムチの酸味、ニンニクの風味、みそのコクをきかせた濃厚でクセになる旨辛スープ、旨み6・辛さ4の絶妙なバランスなどが特徴。「カップヌードル」史上最大量〝ぶっかけ焙煎唐辛子〟が入り食欲を刺激する。専用のTVCMの投下などプロモーションにも力が入る。

9月13日には発売50周年記念商品として「カップヌードル スーパー合体」シリーズ4品を新発売した。SNSなどを中心に「カップヌードル」の様々なフレーバーを混ぜ合わせ食べることが盛り上がるなか、今回、定番8品から2つを組み合わせた〈カップヌードル&しお〉〈カレー&シーフード〉〈味噌&旨辛豚骨〉〈チリトマト&欧風チーズカレー〉を商品化。ネットなどで早くも話題となっている。

「カップヌードル」は今後も〝100年ブランド〟を目指し、国内のほか世界の人々においしさと楽しさを届けていく。

永谷園HD 子会社の再編で事業体質強化、収益向上を推進

永谷園ホールディングスは、連結子会社の会社分割及び吸収合併を行うことを発表した。

永谷園の子会社である永谷園フーズは、同じく永谷園の子会社である㈱サンフレックス永谷園、㈱オクトス、㈱花笠食品、㈱ニシエイ及び㈱永竹の各社を今年10月1日付で吸収合併。永谷園フーズは永谷園の茨城工場及び岡山工場における生産事業を今年10月1日付で吸収分割により継承する。

同社は「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題に企業活動を展開。昨今の加速する競争環境の変化への対応やさらなる事業体質強化による収益性の向上を実現するため、グループ全体による生産会社及び生産工場の役割と機能を見直した結果、一元的に管理する体制が望ましいと判断し実施するもの。

統合後は安全・安心はもとより、「開発」「製造」「物流」「営業」の各機能が有機的かつ効果的に連携し、高度な生産技術と生産効率の向上による事業運営を実現し、企業価値の最大化を図るとともにより強固なグループ経営体制を構築する。

照ノ富士関に3本揃いの化粧まわしを贈呈

同社は第73代横綱に昇進した同社CMタレントでもある照ノ富士関に3本揃いの化粧まわしを贈呈した。

贈呈した化粧まわしは、ケガや病気で一時は序二段まで下げた番付から最高位の横綱にまで登りつめた照ノ富士関の一層の活躍を祈念し「一富士・二鷹・三茄子」とした日本を象徴する縁起もの。

小正醸造 会社分割で小正嘉之助蒸溜所株式会社を設立

小正醸造は、8月1日に会社分割によりウイスキーの製造事業、海外等における販売事業を担う「小正嘉之助蒸溜所株式会社」を新設し包括承継した。これにより小正醸造は本格焼酎、リキュール、スピリッツの製造販売、ウイスキーの国内販売を主な事業とし、小正嘉之助蒸溜所はウイスキー製造、嘉之助蒸溜所内ショップ及び海外でのウイスキー販売を手掛ける。

なお、小正醸造の代表取締役社長に小正倫久氏が就任。前代表取締役社長の小正芳嗣氏は新設した小正嘉之助蒸溜所の代表取締役社長に就いた。

街角経済

経済も緊急事態だ

東京オリンピック、パラリンピック（9月5日終了）が感動を与えたが、これから後始末の支払いが必要である。開催費は二兆四千億円とも三兆円とも言われる高額である。

開催が2020年から1年遅れたのは新型コロナウイルスの感染予防対策からである。しかし今年も「緊急事態宣言」が発出されており、開催について賛否が分かれるなかで、無観客での開催という強行であった。

開催は「成功」との評価であるが、祭りが終わった今、開催費用の大きさに驚いている人も多いのではないか？。

社会は先が見えないコロナ不安という「大災害」に見舞われている。コロナ患者を収容する病院の病床不足が心配されている。医療従事者の重労働も伝えられている。

今はコロナの感染予防策を徹底する一方、経済活動も最重要課題と位置づける宣言も必要な秋冬商戦の本格期でもある。

（大橋隆士）

Stick Mate スティックメイト
meito
NEW
おいしい粉末飲料ができました。

まるでスイーツのようなココアが仲間入り!

ミルクと溶け合う
コーヒーの深い味わい

シナモンの香りに
包まれる
おいしさ、たのしさ、健康を追求する 名糖産業株式会社 http://www.meito-sangyo.co.jp

DRIP COFFEE MON CAFÉ
モンカフェ〈ドリップコーヒー〉

マイルド ブレンド（10袋入）

モカ ブレンド（10袋入）

京都ブレンド（10袋入）

バラエティパック（12袋入）

ミルク ココア（240g）

ハイカカオ 72%（190g）

バンホーテンの腸活ココア（200g）

ミルク ココア 糖質60%オフ（10本入）
VAN HOUTEN
バンホーテン〈ココア〉
Kataoka おいしいひとときを、世界から
片岡物産株式会社 www.kataoka.com
本社／〒105-8615 東京都港区新橋6丁目21番6号 TEL.03(5405)7001(大代表)
名古屋支店／〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目1番1号 広小路本町ビルディング TEL.052(243)6175(代表)